

永年のご尽力に  
心から感謝します。

市では、永年にわたり各分野で尽力され、市勢の伸展に功労のあつた方々の功績をたたえる「市文化の日表彰」を行っています。この表彰は本市最高の賞で、今年は11月1日(金)に表彰式を行い、地方自治功労者に高橋秀勝さん、石井正廣さん、西牧武彦さん、健康福祉功労者に金子定雄さん、産業功労者に柳沼勝馬さん、建設功労者に須賀川市建設業者協議会を、教育功労者に柳沼直三さん、深谷敬一さんを、それぞれ表彰します。



地方自治功労

高橋秀勝さん  
(保土原・71歳)

市最高の榮譽である文化の日表彰にて、「地方自治功労」の受賞に浴し、身に余る光栄と感激しております。

私は、平成3年4月から令和元年9月までの28年余にわたり市議会議員として活動してまいりました。

この間、議会改革をはじめ様々な活動に取り組んでまいりましたが、最も印象に残る出来事は「平成の大合併」であります。

当時、市議会議長として合併協議の調整役を担っておりましたが、合併には多くの調整項目と幾多の課題もありました。

しかしながら、「和」を第一に据え、互いの合意のもと、今日の礎を築くことが出来たことは、大きな達成感と共に、人生の「宝」となる貴重な経験となっております。

今後は、一市民として故郷「須賀川」の輝かしい発展を願っております。

この度の受賞は、多くの支持者の皆様、地域、関係者の皆様、そして苦楽を共にした同僚議員のお陰であり、心から感謝を申し上げ、御礼の言葉といたします。

主な経歴

須賀川市議会議員として平成3年4月から通算7期28年4月の長きにわたり、地方自治の発展に寄与されました。

この間、市議会議長をはじめ、総務常任委員会委員長、須賀川地方広域消防組合議会議員、須賀川地方保健環境組合議会議員、公立岩瀬病院企業団議会議員等を歴任され、市政の多方面にわたり貢献されました。



地方自治功労

石井正廣さん  
(南上町・68歳)

この度、須賀川市文化の日表彰「地方自治功労」の受賞の榮譽に浴し、大変感激しております。これもひとえに、多くの皆様のご指導、ご支援、そしてお力添えのおかげと心から感謝申し上げます。

私は、昭和49年に須賀川市役所に奉職し、職員として38年勤務したのち、平成23年11月から平成31年3月まで副市長の職を務めさせていただきました。

この間の思いは、東日本大震災からの本市の復旧・復興、そして再生に微力ながら「前後裁断」最善を尽くすことであります。

思い悩んだことは、数知れずありましたが、なぜかどうにもならないと思ったことはありませんでした。これも、彩り豊かな多くの皆様の支えがあったればこそと改めて感謝申し上げます。

須賀川市は、大震災を乗り越えて大きな飛躍の時期を迎えています。故郷須賀川市の限りない発展と市民福祉の更なる増進を心からご祈念申し上げ、御礼の言葉といたします。

主な経歴

副市長として平成23年11月から2期7年5月、また、市職員として37年7月、通算45年間の長きにわたり市政の進展に大きく寄与されました。

特に、東日本大震災からの復旧・復興に向けて、山積する重要案件の処理に力を注がれ、職員の先頭に立って本市の復旧・復興事業をけん引し、発展期への礎を築かれました。



地方自治功労

西牧武彦さん  
(越久・81歳)

市文化の日表彰「地方自治功労」受賞の榮譽に浴し、身に余る光栄に存じます。

これもひとえに、市統計調査員協議会の皆様をはじめ、多くの方々のご支援の賜物であり心から感謝申し上げます。

私は、昭和50年に農業センサス調査員として初めて調査に従事して以来、様々な調査において市民の皆様や事業所のご協力を得て調査を務めることができました。

また、平成23年から8年間、市統計調査員協議会長として、効率的な会の運営と安全な調査の実施に、微力ではありますが努めてまいりました。

統計調査の結果は、行政施策に活用されるなど、その重要性は高まってきており、正しく調査を遂行し、結果を社会に還元することが自分の責務だと強く感じております。

今後も一調査員として、統計調査が地域の振興に貢献することを願いながら尽力してまいりますとともに、須賀川市の限りない発展と市民の皆様のご多幸をご祈念申し上げ、御礼の言葉といたします。

主な経歴

昭和50年に農業センサス調査員に任命されて以来、長きにわたり、延べ80回の国勢調査や各種統計調査に調査員や指導員として従事されました。

また、市統計調査員協議会に所属され、平成23年から令和元年まで4期8年にわたり、会長として会員の指導・育成にあたるなど、本市の統計調査の推進に寄与されました。



健康福祉功労

金子定雄さん  
(狸森・85歳)

須賀川市文化の日表彰「健康福祉功労」受賞の榮譽に浴し、感激の至りでございます。

これもひとえに、多くの先輩や仲間からのご指導の賜物と感謝申し上げます。

私は、平成16年に先輩から誘われるまま地元老人クラブに加入しました。

私にとって老人クラブは、活動の場であり、また地域づくり・仲間づくりの舞台でもありました。

平成23年に須賀川市老人クラブ連合会の会長に就任し、8年間にわたり活動してまいりました。

常時会員増強に努め、組織強化を図りながらニュースポーツの推進などによって健康増進や多様な価値観を持つ会員の要望に添えていくために、柔軟な対応が求められました。

自らが心身共に健康であることと、仲間づくりや友愛活動を通して地域から認められ、期待される組織であるために、今後もこの目標に向かって生涯現役を貫きたいと考えております。

主な経歴

平成19年4月から4年間にわたり須賀川市老人クラブ連合会事務局長、平成23年4月から8年間にわたり会長を務められ、高齢者福祉の増進に寄与されました。現在は、顧問として後進の指導にあたられています。

また、平成30年6月からは福島県老人クラブ連合会会長を務められ、現役で活躍されています。



産業功労

柳沼勝馬さん  
(牡丹園・85歳)

市文化の日表彰「産業功労」受賞の榮譽に浴し、心より感謝申し上げます。

須賀川牡丹園保勝会の理事として37年、うち理事長として13年間、牡丹園とともに歩ませていただきました。その職務を全うできたのも、理事や評議員の皆様のご協力と、運営を管理する市産業部観光交流課の皆様のご支援、牡丹園保勝会の皆様のためめ栽培管理や運営に支えられてのことであり、改めて御礼申し上げます。

須賀川牡丹園は、伊藤祐倫が葉草畑として開拓をしてから今年で253年、柳沼家が明治初期に譲り受けてから約150年になります。特に柳沼源太郎は、慈愛に満ちた栽培に専念し、その功あって外観等も含め、昭和7年に牡丹園としては唯一、国の名勝に指定されました。

市民の宝であり、誇りとなった牡丹園が子々孫々に至るまで引き継がれて行く事を願っています。

今まで貴重なご助言をくださいました皆様に深く感謝と御礼を申し上げます、挨拶といたします。

主な経歴

平成18年6月から13年間にわたり、須賀川牡丹園保勝会の理事長を務められました。

文化財である須賀川牡丹園の適切な保存管理や県内外への情報発信、文化の伝承に努められたほか、牡丹園の価値向上のため、牡丹園発祥250年記念式典など積極的な事業推進に取り組み、本市観光の振興・発展に寄与されました。



安藤 清吉さん  
(下小山田・68歳)

農業賞（個人の部）

この度の受賞を大変有難くうれしく思います。  
牛を育てて40年以上になりますが、増やしたい反面、原発事故などの影響もあり、餌となる稲わらを確認することが困難となり悩んだ時期もありました。しかし、自分の牛が立派に成長し子牛が生まれたときは、とてもうれしく思い、やりがいを感じます。  
また、水稻は牛の堆肥を施用した耕畜連携の有機農業に取り組んでおり、これからも収穫量、米粒の大きさや品質にはこだわっていきたいです。  
今後も、地域や人とのつながりを大切に、新しいことに挑戦しながら地域農業の発展に貢献していきたいと思ひます。

市では、農業経営の改善や技術革新などに取り組んでいる個人や団体を表彰する「市農業賞」と、卓越した技能者を表彰する「市技能功労者表彰」を設けています。市農業賞個人の部で安藤清吉さん、団体の部で夢みなみ農業協同組合すかがわ岩瀬地区野菜協議会大東支部直販部会、市技能功労者表彰で久保木徹朗さんがこの栄誉に輝きました。それぞれの受賞者は、11月1日に市役所で表彰します。

産業の発展に貢献した  
功績をたたえて

令和元年度市農業賞・市技能功労者表彰



久保木 徹朗さん  
(東町・62歳)

技能功労者表彰

この度は、名誉ある須賀川市技能功労者表彰をいただき誠にありがとうございます。  
江戸時代から続く畳店の長男として生まれ、祖父母・両親・お弟子さんたちと一緒に生活しながら、仕事を見てきました。  
有限会社久保木畳店に入社してからは、職人さんの技術を目で盗みながら、研鑽を積み重ね、技能士の資格を取得、現在に至っております。  
今回の受賞は、お客様や当社スタッフ、同業者、家族の支援があったからだと思います。  
これからも、畳の良さをアピールしながら受賞に恥じない仕事をしていきたいと思ひます。



夢みなみ農業協同組合すかがわ岩瀬地区野菜協議会大東支部直販部会

農業賞（団体の部）

この度の受賞により、部会が評価され地元の活性化にもつながり、大変うれしく思っております。  
大東直販部会は減農薬の取り組みにより安全・安心なきゅうり栽培を目指して組織され、日頃から検討会など情報交換の場も多く、熱心な会員とともに勉強会に何度も足を運び、平成29年にはJGAP認証を取得することができました。  
これをきっかけに岩瀬きゅうりの安全性を広くアピールし、来年開催される東京オリンピックに使用され好評を得ることができればとてもうれしく思ひます。  
今後も、地域農業の振興ときゅうり栽培の普及に貢献していきたいと思ひます。



教育功労

深谷 敬一さん  
(岩淵・75歳)

市文化の日表彰「教育功労」の受賞の栄誉に浴し、身に余る光栄であり、お礼申し上げます。  
平成19年10月1日に市教育委員会委員に任じられ、3期11年間、職務に当たってまいりました。  
市内の各学校では、子どもたちの個性や能力を伸ばし、夢の実現に取り組んでいます。課題も多いのが現状です。  
学校訪問や地域懇談会などで意見や要望などを聞きながら、課題解決の指針を構築することが求められます。  
東日本大震災で本市も多大な損害を被り、子どもたちに動揺を与えましたが、それらを払拭し、たくましく成長している姿は、将来、本市にとってかけがえのない財産になることは間違いありません。  
教育理念である「子どもたちを真ん中に据えた教育」を更に推進して欲しいと願っております。

主な経歴

平成19年10月から11年にわたり市教育委員会委員を務められ、その間教育委員会委員長を5年間、教育長職務代理者を3年間務められました。  
特に東日本大震災後は、児童生徒の心のケアなどの支援事業や、教育施設の災害復旧事業、現場を把握するための学校訪問などの活動に取り組み、本市の教育行政の推進に寄与されました。



教育功労

柳 沼直三さん  
(滑川・66歳)

「子どもが真ん中」。教育長在任中の2期6年間、教育行政に携わる者として目指したのは、「子どもたちを真ん中に据えた教育の実践」です。  
児童生徒一人ひとりの可能性を伸ばし、子どもたちの生き抜く力をしっかりと育むことを目標に、教育委員の皆様をはじめ、事務局と教職員が一体となって取り組んでまいりました。  
お陰様で、橋本市長をはじめ多くの皆様の御理解を得、教育施設の震災からの復旧復興はもとより、教育環境の整備充実も図られ、市内の小中学校全校を対象にした小中一貫教育「須賀川モデル」も着実な成果が期待されます。  
この度、本市最高の栄誉である「文化の日表彰」に浴しますことは誠に身に余る光栄であり、これまで支えて下さいました多くの皆様に心から感謝申し上げます。  
結びに、須賀川市の限りない発展と、未来を担う子どもたちの健やかな成長を御祈念申し上げ、お礼の言葉といたします。

主な経歴

平成24年10月から5年11月にわたり、市教育委員会教育長を務められ、東日本大震災で被災した学校施設、文化・スポーツ施設などの早期復旧に尽力されました。  
また、市長と教育委員会で構成する「総合教育会議」の設置や、施設一体型の小中一貫教育校「稲田学園」の整備など、本市教育行政の推進と充実寄与されました。



建設功労

須賀川市  
建設業者協議会  
(会長 野田 忠さん)

この度、市文化の日表彰「建設功労」の栄誉に浴しまして、会員一同この上ない喜びと共に、心から深く感謝申し上げます。  
本協議会は昭和62年に設立され、建設業の立場から、地域社会への貢献に努めてまいりました。大局的には国土を守るという役割がありますが、具体的には、道路や河川、公共施設の整備を通して、地域の方々の豊かな生活の向上に資することにあります。  
活動の中で、道路の安全確保を目的に、草刈りやごみ清掃など、会員のボランティアにより道路環境の改善に努めてきたところです。  
また、緊急を要する市からの依頼を受け、道路の陥没やのり面の修繕等を実施し、道路の安全な通行に寄与してきました。  
本協議会では、今後も常に道路を愛護し守ることに理解を深め、ボランティア活動に努めてまいります。

主な活動内容

平成2年から、30年間にわたり新学期が始まる4月初旬と、8月10日の「道の日」の年2回、ボランティアで市内の幹線道路の美化作業を実施され、道路環境の整備に取り組みられています。  
また、同じく平成2年から、釈迦堂川「ふれあいロード」環境美化運動にもボランティアで参加され、本市の環境美化に貢献されています。